

当院において脳および脊髄の病理解剖を受けて頂いたご遺族へ

「山陰地方における神経疾患の多施設共同臨床病理学的解析」について

はじめに

鳥取大学医学部附属病院脳神経内科では、1990年4月1日から2026年3月31日までに、脳および脊髄の病理解剖を受けられた患者さんを対象に、カルテ、手術記録、看護記録等（以下、「カルテ等」といいます）の診療情報から得られる情報／検体（病理組織検体）をもとに研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けており、山陰地方の医療機関と協同して行っています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、1990年4月1日から2026年3月31日までの期間に、山陰地方の4医療機関において、脳および脊髄の病理解剖を受けられた患者さんのカルテ等から、情報および検体を集めさせていただき、「生前の症状と病理所見」を調査します。また、それ以外にも、「進行性核上性麻痺の患者さんの臨床症状と病理所見の対応」、「筋萎縮性側索硬化症の患者さんの臨床症状と病理所見の対応」、「病理所見と認知症の対応」についても調査を予定しています。また、神経疾患を有しない患者さんの症状と病理所見を対照として比較します。すべての情報は、鳥取大学医学部神経病理学に電子的に送付され、集計されます。また、検体（病理検体）は、鳥取大学医学部神経病理学に送付され、さらなる病理学的検索を行います。なお、情報／検体（病理検体）は、研究代表者が責任を持って保管、管理します。

本研究に参加される患者さんは、他の研究参加者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報／検体（測定項目）

患者さんのカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。

【患者さんの情報】

性別、診断時所見（年齢、体重、確定診断日、診断方法、神経所見）、検査所見〔血液検査、神経心理検査（MMSE, HDS-R, FAB, MoCA-J, SDS, SLTA）頭部MRI, 脳血流SPECT, MIBG心筋シンチ, DAT-SPECT, 脳脊髄液検査〕、合併症、既往歴、治療内容（薬物療法、非薬物療法）、経過および転帰（発症から死亡までの期間、直接死因、死亡から病理解剖ま

での時間)

【神経病理学的所見】

病理解剖時に得られた病理組織を用いて新たに免疫染色を行い、さらなる病理所見として利用させていただきます。また、凍結脳の生化学的・遺伝学的解析を行います。

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2027年3月31日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報／検体（病理検体）は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用、提供します。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、将来の神経疾患の治療法の進歩に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

不利益・・・カルテ等からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただき患者さんの情報／検体（病理検体）が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、患者さんの情報／検体（病理検体）は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報／検体（病理検体）は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれ

か遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報／検体（病理検体）を研究に用いられたくない、または鳥取大学医学部／研究代表施設への情報／検体（病理検体）の提供を停止したい場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めに希望された場合でも、担当医や他の職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。

取り止めの希望を受けた場合、患者さんの情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めに希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、科学研究費助成事業の研究助成、鳥取大学医学部神経病理学および鳥取大学医学部附属病院脳神経内科の奨学寄附金（又は神経病理学および脳神経内科の研究費）で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 研究代表施設および研究代表者の情報

足立 正 鳥取大学医学部脳神経医科学講座 神経病理学 准教授
〒683-8503 鳥取県米子市西町 86
TEL：0859-38-6783／FAX：0859-38-6789

12. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報／検体（病理組織）が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報／検体（病理組織）の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

足立 正 鳥取大学医学部脳神経医科学講座 神経病理学 准教授
〒683-8503 鳥取県米子市西町 86
TEL：0859-38-6783/FAX：0859-38-6789

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

(URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>)

13.研究実施機関および研究責任者

鳥取大学医学部脳神経医科学講座 神経病理学 准教授 足立 正
独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター 臨床研究部 部長 小西 吉裕
鳥取県立中央病院 病理診断科 部長 徳安 祐輔
松江赤十字病院 病理診断科 部長 三浦 弘資